

鴨川市教育委員会 8 月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年8月27日(火) 開会 午後2時00分
閉会 午後4時00分
- 2 場 所 天津小湊支所 2階 会議室
- 3 出席委員 (1) 月岡正美 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 永島康弘 (5) 吉原里夏
- 4 出席職員 (1) 渡邊弘仁 (2) 長谷川幹男 (3) 石川丈夫
(4) 三浦 徹 (5) 佐藤信二
- 5 傍聴者 4名
- 6 発議
 - ・ 月岡教育長から、「報告事項(1)平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」及び「議事(1)令和2年度使用教科用図書の採択について」を非公開とする発議がなされた。
 - ・ 会議規則第14条の規定により直ちに採決を行い、「報告事項(1)平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」及び「議事(1)令和2年度使用教科用図書の採択について」を非公開とすることについて、承認された。
- 7 教育委員会7月定例会議事録の承認
 - ・ 月岡教育長から、7月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。
- 8 教育長・委員報告
 - ・ 月岡教育長から、7月定例会議以降に教育長が出席した行事等の内容について、別紙報告書を基に報告がなされた。
- 9 報告事項
 - (1) 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・ 月岡教育長が、傍聴者に退室を指示し、傍聴者は退室した。
 - ・ 渡邊学校教育課長から、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について、資料をもとに報告がなされた。
 - ・ 月岡教育長から、中学英語「話す」調査において、各校平均値の差について

は、何か特別な要因があるのか、との質問がなされた。

- ・ 渡邊学校教育課長から、英語は新規の調査であり、実施にあたり音声認識機器の使用など生徒に戸惑いがあったのではないかと、解答時の小さな声を機器が正確に認識しないことが影響したのではないかと、との説明がなされた。加えて、今後、各校の考察をもとにより精密な原因分析を行う、との説明がなされた。
- ・ 石井委員から、子ども達にある程度問題慣れさせていくことも必要なのではないかと、との意見がなされた。
- ・ 吉原委員から、県北では特別な対策をしているのではないかと、毎年、同じような傾向が続いているということは、何らかの手立てが必要である、との意見がなされた。
- ・ 石井委員から、近隣公立高校の倍率低下が中学生の学習意欲の低下に影響しているのではないかと、との意見がなされた。
- ・ 吉原委員から、長期休業中の宿題は作品制作や研究、作文などに重きが置かれている、国語や算数などの基礎学習にもっと力を入れた方が良いのでは、との意見がなされた。
- ・ 石井委員から、夏休みの宿題が終わらないことが2学期の登校しぶりにつながる事例もあるので、宿題の出し方も配慮が必要となる、との意見がなされた。
- ・ 月岡教育長から、他地区では、エアコンが設置された学校で夏休み中に積極的に補習を行う事例がある、そのような対応についても今後検討の余地がある、との意見がなされた。
- ・ 石井委員から、夏休みの宿題に関しては、子ども達が「やりきった」という充実感を持って新学期を迎えられるようにすることが大切だ、との意見がなされた。

(2) 市内小中学校いじめ調査（1学期分）の結果について

- ・ 傍聴人が再び入室した。
- ・ 渡邊学校教育課長から、市内小中学校いじめ調査（1学期分）の結果について、資料をもとに報告がなされた。
- ・ 根本委員から、「継続指導中」と報告されている中には、昨年度からの長期事例もあるのか、との質問がなされた。
- ・ 渡邊学校教育課長から、昨年度末に認知され年度またぎで継続指導しているものもある、との説明がなされた。
- ・ 石井委員から、各校内を対象とした本調査とは別に、SNS等で校外生徒等からいじめや嫌がらせを受けた事例の報告はなかったか、との質問がなされた。
- ・ 渡邊学校教育課長から、各校から大きなトラブルの報告はなかった、過日の市内校長会議で夏休み明けの児童生徒の変化等について十分な観察を行うよう依頼した、との説明がなされた。

(3) 教員の在校時間調査の結果について

- 三浦主任管理主事から、教員の在校時間調査の結果について、資料をもとに報告がなされた。
- 渡邊学校教育課長から、市の「学校における働き方改革推進ガイドライン(仮称)」は、現在作成中であり、今後、各校長等の意見も参考にしながら完成を目指す、完成後、定例会において委員の皆様にお諮りしたい、との説明がなされた。
- 月岡教育長から、8月に行われた市教育政策研究会全体研修会及び鴨川中学校区小中一貫教育夏季研修会において、市内多数の教職員に対し、この働き方改革についての今後の方向性や自身の考えを伝えた、との報告がなされた。
- 永島委員から、教職員のストレスチェックは実施されているのか、との質問がなされた。
- 三浦主任管理主事から、市内どの学校もストレスチェックが義務づけられている「50人以上の事業所」には該当しないため、実施していない、との説明がなされた。
- 永島委員から、軽度のアンケートのようなものでも良いので実施をし、より働きやすい職場づくりを進めてほしい、との意見がなされた。
- 渡邊学校教育課長から、市役所で実施しているストレスチェックの様式等を参考に、簡易な形でも実施できるよう方策を検討していきたい、との説明がなされた。
- 根本委員から、最も遅く退庁する職員は何時頃まで職場にいるのか、との質問がなされた。
- 渡邊学校教育課長から、非常に限定的ではあるが、業務が過密化する時期など稀に深夜0時を超える事例もある、各校管理職はその状況を把握はしているので、職員の健康状態の観察、声かけや指導等はその都度行っている、との説明がなされた。
- 月岡教育長から、各校長に対しては、個人に業務が集中するようであれば、積極的に分掌の見直し等を行うよう依頼している、との説明がなされた。加えて、新規採用者を含む意欲のある若手が、自己研鑽的な意味合いで遅くまで教材研究など授業準備に熱心に取り組んでいる現状もある、との説明がなされた。
- 渡邊学校教育課長から、40代、50代のベテラン層には、より丁寧に納得いくまで授業準備等をするに強いこだわりとプライド持っている職員が一定数いる、各校管理職には、当人達の思いは汲みつつも当人の健康状態等を十分に把握し、適切に指導を行うよう依頼している、との説明がなされた。
- 月岡教育長から、抜本的な解決策である教職員配置定数の改善は国が行うことであり、これなくして、現状を改善することは簡単ではない、財政的に余裕

のある自治体はP Cによる校務支援システムを導入し始めているので、本市においてもその動向を見ながら今後の方向性を探っていきたい、との説明がなされた。

- ・ 石井委員から、今一番求められているのは、学校に関わる人間を増やしていくことだろう、との意見がなされた。加えて、たとえ「業務ではない」と文科省から示されたものでも、子どもの深夜の事件・事故への対応など、教員の思いとして見て見ぬふりはできないものが実際は少なくないのではないか、との意見がなされた。

(4) 千葉県中学校総合体育大会の成績について

- ・ 渡邊学校教育課長から、千葉県中学校総合体育大会の成績について、資料をもとに報告がなされた。

(5) その他

- ・ その他の報告事項なし。

10 議 事

(1) 令和2年度使用教科用図書の採択について

- ・ 月岡教育長が、傍聴者に退室を指示し、傍聴者は退室した。
- ・ 月岡教育長から、令和2年度使用教科用図書の採択について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 根本委員から、従来と異なる出版社の教科用図書を採択した場合、市として経費負担が増えるようなことはあるのか、との質問がなされた。
- ・ 渡邊学校教育課長から、新たに教科用図書を採択した場合、その指導書は従来と同様の出版社であっても全て新しくしなくてはならないので、経費の面では出版社が変わることは特段の影響はない、との説明がなされた。
- ・ 他に質疑なく、令和2年度使用教科用図書の採択について、原案通り承認された。

(2) 鴨川市民ギャラリーの休館について

- ・ 傍聴人が再び入室した。
- ・ 石川生涯学習課長から、鴨川市民ギャラリーの休館について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 根本委員から、このまま休館とした場合、建物維持管理等の経費はどの程度かかるのか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、作品保管のための空調設備稼働等は予定していない

ので、最低限の経費はかかるものの、現状より大幅に削減される見込みである、との説明がなされた。

- ・ 他に質疑なく、鴨川市民ギャラリーの休館について、承認された。

(3) 平成30年度教育委員会の点検と評価について

- ・ 三浦主任管理主事から、平成30年度教育委員会の点検と評価について、資料をもとに、説明がなされた。
- ・ 特に質疑なく、平成30年度教育委員会の点検と評価について、承認された。

11 閉 会

閉会后、10月の教育委員会行事予定について、事務局より説明がなされた。

月岡教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和元年10月17日

鴨川市教育委員会 教育長 月岡 正美

教育長職務代理者 石井 千枝

議事録作成 (学校教育課長 渡邊 弘仁)